



報道発表資料の配付日時 4月 7日 (水) 16時 00分

発表項目 (行事名)	北海道食の輸出拡大戦略<第Ⅱ期>推進状況報告書2020年(1月~12月)の公表について																						
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者																					
		発表場所																					
概要	<p>平成30年(2018年)12月に策定した「北海道食の輸出拡大戦略&lt;第Ⅱ期&gt;」について、このたび、2020年1月から12月の推進状況を取りまとめましたので、次のとおりお知らせします。</p> <p>1 2020年の輸出実績(道内港)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農畜産物・農畜産加工品 55.4億円(対前年比+ 15.4億円(+38.5%))</li> <li>・水産物・水産加工品 435.6億円(対前年比▲102.8億円(▲19.1%))</li> <li>・その他加工食品 87.4億円(対前年比+ 1.4億円(+1.6%))</li> </ul> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li>・合計 578.4億円(対前年比▲ 86.0億円(▲12.9%))</li> </ul> <p>2 北海道輸出拡大戦略&lt;第Ⅱ期&gt;における輸出額の目標と推進状況</p> <p>輸出拡大戦略では、2023年に道内港と道外港合わせて1,500億円の道産食品輸出額を目標に掲げており、その推進状況は次のとおり。</p> <p style="text-align: right;">(億円)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th></th> <th>H30 (2018)</th> <th>R1 (2019)</th> <th>R2 (2020)</th> <th>2023 (目標)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>道内港</td> <td>774</td> <td>664</td> <td>578</td> <td>1,100</td> </tr> <tr> <td>道外港(推計)</td> <td>408</td> <td>379</td> <td>今後調査</td> <td>400</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1,182</td> <td>1,043</td> <td></td> <td>1,500</td> </tr> </tbody> </table>				H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	2023 (目標)	道内港	774	664	578	1,100	道外港(推計)	408	379	今後調査	400	合計	1,182	1,043		1,500
	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	2023 (目標)																			
道内港	774	664	578	1,100																			
道外港(推計)	408	379	今後調査	400																			
合計	1,182	1,043		1,500																			
参考	<p>○詳細は、道のホームページをご参照願います。</p> <p><a href="http://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/sss/exp/suisinjoukyouhoukoku.htm">http://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/sss/exp/suisinjoukyouhoukoku.htm</a></p>																						

報道(取材)に当たってのお願い	
他のクラブとの関係	同時配付(場所) 同時レク

担当 (連絡先)	<p>経済部食関連産業局食産業振興課(担当者:井澤、伊藤、滝本)</p> <p>TEL(ダイヤルイン) 011-204-5312</p> <p>内線 26-803</p>
-------------	---

北海道食の輸出拡大戦略<第Ⅱ期>推進状況報告書  
 <2020年(1月~12月)>

令和3年(2021年)4月  
 北海道

1 2020年の輸出をめぐる情勢

輸出環境の動き

- ・世界的な新型コロナウイルス感染症の流行によって、外出自粛や国内外の渡航禁止など、輸出環境を巡る情勢は大きく変化
- ・外出自粛により、外食産業が落ち込む一方、内食、中食の需要増、電子商取引市場の拡大や巣ごもり需要など消費需要が大きく変化
- ・農林水産物・食品の輸出を促進するため、2020年4月輸出促進法の施行、11月に国の輸出拡大実行戦略の決定
- ・RCEP協定への署名による関税撤廃の動き

道内の動き

- ・苫小牧港の大型冷凍冷蔵倉庫の稼働開始
- ・苫小牧港発ASEAN向け小口混載コンテナ輸送
- ・新千歳空港・苫小牧港ダブルポート構想
- ・地理的表示(GI)保護制度の新たな登録
- ・HACCP等対応施設整備補助の活用
- ・GFP農林水産・食品事業者の登録2,520件  
 (道内229件) 全国1位(2月末現在)

2 輸出の現状

○道内港からの道産食品の輸出額 2020年:578.4億円(前年比86.0億円(△12.9%)減)

大品目	H30・2018	R1・2019	R2・2020	2020年対前年	
				増減額	増減率
農畜産物 農畜産加工品	35.0億円	40.0億円	55.4億円	+15.4億円 (+38.5%)	主な増減品目輸出額(対前年増減額) たまねぎ 14.5億円 (+11.1億円) ながいも 11.3億円 (△2.0億円) シルク・クリーム 11.2億円 (+1.2億円)
水産物 水産加工品	624.4億円	538.4億円	435.6億円	△102.8億円 (△19.1%)	ホタテガイ 225.3億円 (△96.4億円) ナマコ 112.2億円 (△8.7億円) サケ・マス 33.1億円 (△0.9億円)
その他 加工食品	114.7億円	86.0億円	87.4億円	+1.4億円 (+1.6%)	菓子類 46.5億円 (△8.3億円) 野菜調整品 12.4億円 (+2.3億円) 水・清涼飲料水 6.0億円 (+2.7億円)
合計	774.2億円	664.4億円	578.4億円	△86.0億円 (△12.9%)	
(参考) 道外港推計値	408億円	378.8億円	今後調査	※「増減額」は千円単位で計算。端数処理の関係で差し引き、合計が一致しない場合がある。 ※道外港推計値は翌年に推計作業を行うため、2019年分まで公表。	
道内外港合計	1,182.2億円	1,043.2億円			

3 2021年度の展開方向と主な取組

- 世界的な新型コロナウイルス感染症の流行によって、外出自粛や国内外の渡航禁止など輸出環境を巡る情勢は大きく変化しており、感染状況や購買需要の動きを見据えた上で各般の施策に取り組む必要がある。
- 2021年も海外への自由な渡航ができず、対面での輸出先国へのPRや商談会などの実施が困難な状況が続いていることを踏まえ、感染状況を見据えた上で、オンラインを含めた商談会・相談会やプロモーションの実施など、消費回復や販路拡大に向けた事業を展開するほか、生産の安定に向けた取組を加速するとともに、輸出拡大に向けた競争力を強化するなど、各般の施策を迅速かつ着実に進める。

(1) 生産の安定化・輸出品目の拡大

- ・海外のニーズや輸入規制等に対応したグローバル産地の形成支援
- ・水産物にかかる衛生管理要件への対応、商品保護のための認定マーク等商標登録による輸出品目の拡大

(2) 商流・物流網の整備

- ・輸出先国における輸入規制の撤廃・緩和と手続きの簡素化などに向けた国への要望
- ・市場が拡大しているECやオンライン取引に対する支援

(3) 北海道ブランドの浸透・市場拡大

- ・シンガポール、タイのどさんこプラザを活用したマーケティング支援やプロモーション・商談会等の実施
- ・GAP、水産エコラベル、HACCP等の国際認証・国際規格等の導入促進
- ・WEBによる道産食材を活用したメニューのプロモーション

(4) 人材育成・輸出支援体制の強化

- ・「道産食品輸出塾」による香港・台湾向け知識の習得、商談会参加
- ・「地域フード塾」「ワインアカデミー」の実施
- ・オンラインを活用した輸出セミナーの開催
- ・官民連携による「輸出拡大会議」での課題解決に向けた検討